



写真：佐藤正勝カメラマンさん

MediaDoKageyamaRacing

参加台数 33台

11月 9日 DUNLOPF4トレーニング2本

11月10日 OTG F4トレーニング3本

11月11日 予選(30分間)1stタイム：6位 2ndタイム：6位

第13戦決勝(12LAPS)：2位

11月12日 第14戦決勝(12LAPS)：6位



～木曜日～

ドライ

17位・13位

1本目 100Kmタイヤ

昨日の状態からフロントのキャンバーを1度つけて走行しました。初期は動きやすくなるものの、リアがものすごくピーキーでタイムも出なかったです。またブレーキ時の制動距離も伸びている感覚がありました。

走行後はキャンバーを戻した状態で行くか、戻さずにリアの車高を落として行くかを考えました。

2本目 60キロタイヤ

キャンバーを戻した状態で走行しました。全体的にバランスが良くなり、タイムも上がりました。上位陣はほとんどニュータイヤを履いている中で僕はユーズドでのタイムでした。

セクター1、2はニュータイヤ勢と比べても調子が良いですが残りのセクター3.4で少しタイム差があるので、明日ニュータイヤを履いた時にその部分をきちんと逆転するために考えます。

アドバイザーさんとロガーを見て頂き、細かい部分でももっと詰められる部分を教えて頂いたので、明日その部分を克服します。

～金曜日～

ドライ

5位・7位・11位

1本目Newタイヤ

昨日のセットのまま走行しました。気温・路温がとても低く、明日の予選も同じ事が想定されたのでタイヤを傷めないようじっくりと熱を入れる練習も行いました。全体的にセットも決まっていたタイムも出て来ましたが、S字2個目の向きが変えにくかったので次のセッションに向けてはリアの車高を1ミリ上げました。

2本目Newタイヤ

S字2個目は動きやすくなりましたが、他の低速コーナーでのトラクションが無くなってしまいました。リアの車高を上げたことによりトラクションは少し悪くなる事は想定していましたが、自分が考えている以上に悪くなってしまったのでセットを戻すことにしました。

3本目70キロタイヤ

3本目もNewタイヤを履いた人が多く、タイム自体はとても接近したセッションでした。S字での向きの変え方や頑張り過ぎない事など僕の中の課題克服や、ユーズドでのセッティングを考えながら走行しました。順位自体は11位ですが、ユーズドという事もあり自分の中ではしっかりと意味のあるセッションを走れました。

～予選～

ドライ

昨日と同じ様に路温が低かったため、入念にタイヤの熱入れを行いました。

セット変更は行わずに臨みました。昨日との違いは路面のフィーリングでした。全体的にコーナーでリアをスライドさせてしまったり、トラクションを上手く掛けられませんでした。予選後半にタイムは伸びたものの、最後のひと伸びタイムが欲しかったです。セクター1～3までベストできている週のセクター4で前車にひっかかってしまったりと、悔しさの残る予選でした。

しかし、前戦同様集団の中に入らず、単独で走行出来て良かったです。



**予選結果： 第13戦スタート6位
第14戦スタート6位**

第13戦 ドライ

スタートも決まりました。1周目の競い合いで前に出れたことが今回のレース結果に繋がったことだと思います。2位に上がった後も後続が直ぐ後ろに居ましたが、きちんと前を意識して集中して走れたのでその後は引き離す事が出来ました。

今回のレースはこの2つが大きく成長出来た部分だと思います。

レースの途中からトップとペースがあまり変わらなくなったので、第14戦はもっと序盤から良いペースで走れる様にします。

運も大きくあったレースでしたが、嬉しかったです。一年振りに表彰台に登る事が出来ました。

結果：6位→2位



第14戦 ドライ

昨日の様なとても良いレースではありませんでしたが、きちんと前戦からの成長を感じれるレースでした。

1周目の競り負けや、レース後半で落ちる部分が無かったです。しかし、前車がすぐ前にいる状態で常に全力で走りましたが、その中で自分の課題がまだまだありました。

今年はまだ最終戦が終わってしまい、来年に向けては何も決まっておりませんが、今回成長出来た部分や課題を更にレベルアップして来年以降のレース活動に繋げていきます。

結果：6位→6位

～まとめ～

まず始めに一年間無事にレースに参戦させて頂き、ありがとうございました。

今回のレースは、今シーズンの中で一番良い流れでレースが出来たと思います。トレーニング走行の段階からニュータイヤを履いた時のセッティングも方向性を間違えることなく進められました。

また予選に関しては前戦鈴鹿からですが、走り出した際に少し自分が思い描いたフィーリングと若干の違いがありましたが、その中できちんと集中してタイムを出しに行けるようになったと思います。しかし、そもそもはきちんと気温や路面の事を考えた上で予選でセットの決まったクルマを作れるようにならないといけません。

決勝に関しては、コースの特性や運に多く助けられました但那中でも成長を感じる事が出来ました。ただ第14戦に関してはもっと攻めていける幅を増やさなければなりません。

最終ラウンドで予選・決勝共に良い成長を感じる事が出来ました。この成長を来年も確実に物にしていけるようにします。

今年も応援して下さいました、本当にありがとうございました。

また来年も宜しくお願い致します。

篠原拓朗



M.SLASH

M's Auto
Mobile Service



PLAT2



SS StarFive
Motor Racing Store

MAKE
WINNER

ROBA
Driving School

PROTEX



R'S DESIGN